



**VJU**  
Vietnam Japan University  
VNU since 1906

## 【日越大学メールマガジン Vol.22 2019年3月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に2期生82名、3期生80名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究(MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)の各専攻プログラムを勉強しています。

また、2018年に入学した第3期生には、ミャンマーから2名、ナイジェリアから4名の計6名の外国人学生も入学し、国際大学としての第1歩を歩み始めました。



### 【今月のトピックス】

#### 1 日越大学ニュース

##### Training Workshop “R&D Activities in Malaysia and Vietnam”の開催

3月16日に、日越大学で「研究所や国際大学における科学技術活動の発展—各国からの経験」というテーマで、国際セミナーが、日越大学、ハノイ国家大学アジア研究支援センター（ARC）、マレーシア工科大学（Universiti Teknologi Malaysia）及び立命館大学の共催でおこなわれました。まず、古田学長から、「日越大学はベトナム政府と日本政府が連携して世界に新しい価値をもたらす大学を構築しており、将来的には研究志向大学として発展することを目指しています。今回のセミナーの目的は、科学技術活動（特に研究開発活動）の経験の共有、大学・研究所と企業間の連携の促進、地域の国際的な大学と研究所間のネットワーク開発及びその連携の強化です。このセミナーを第一歩として、大学間での活発な学術交流がおこなわれることを期待しています。」との挨拶がありました。

次に、科学技術研究活動を促進するために設立された、マレーシア工科大学マレーシア日本国際工科院(MJIIT)の Ali Selamat 院長が、「大学と研究所間の連携による科学技術の発展について、多くの開発モデルが展開されることを期待しており、ASEAN 諸国内での意見交換を活発にし、科学技術活動の発展を共に目指すことを望んでいます。」と述べられました。

MJIIT は 2010 年に設立され、マレーシア工科大学(UTM)の組織の一つで、マレーシアの教育と日本の教育の高度な研究活動の組み合わせを方針とし、近代的な設備を備えた 20 ヶ所の研究所を設け、素晴らしい学習環境及び研究環境のもと、マレーシアにおける研究活動の一翼を担っている

組織です。

また、立命館大学の中谷吉彦教授から、立命館大学が **Techno Producer** 向けの効率的な支援モデルを展開しており、科学研究製品を数多く作り出し、研究機関と企業間の緊密な協力関係に基づいた技術を応用していることを説明されました。

更に、ハノイ国家大学アジア研究支援センター(ARC)の **Mai Ngoc Anh** 教授から、国際機関と協力をおこない、**Le Quy Don** 工科大学の事例をケーススタディーとして説明されました。

日越大学は、今後も科学技術の発展に伴い、各地域・各国間の科学者・研究者間の連携構築について、積極的に関与していく予定です。



## 学生募集説明会の開催

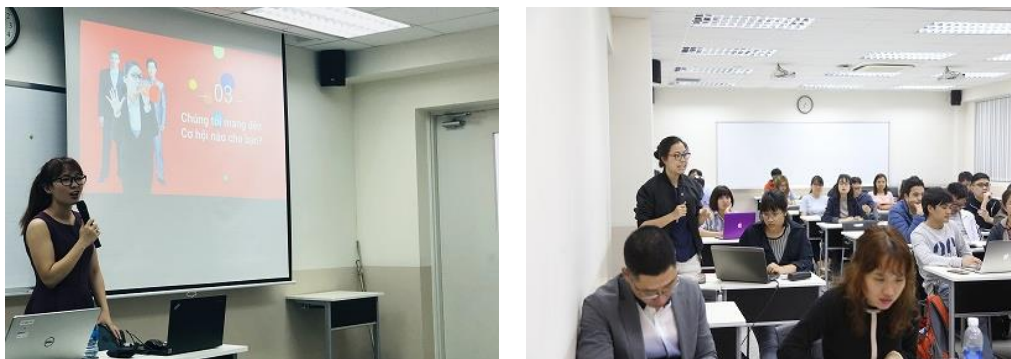
日越大学では、2019年9月入学生の募集をおこなっており、応募に関心のある学生を対象に、3月11日(月)に大学説明会を開催しました。毎年、社会人からの応募が多くあることから、一般的な就業時間後の18:00開始とし、40名を超える参加者が集まりました。本学は、他のベトナムの大学院と違い、フルタイムで授業が行われるため、仕事との両立に関する相談や、奨学金についての質問が多く寄せられました。また、本学では毎年3月と7月の2回にわたり入試を実施しており、第1次募集は3月18日が締め切りとなり、3月下旬から、各プログラムにおいて、日本人とベトナム人の教員による入試が実施される予定です。



## キャリア・オリエンテーションの開催

4月20日（土）と21日（日）に第1回日越大学ジョブフェアを開催予定で、これに合わせて、第2期生の卒業生の就職活動への意識を高めるべく、外部講師を招いてキャリア・オリエンテーションを開催しました。

オリエンテーションでは、日本企業の求人をどこで探せばいいのか、日本語レベルはどれくらい必要か、日本企業で働いた場合の給与や生活について、など幅広く説明が行われました。当日は、40名の学生が参加し、日本企業に対して理解を深めました。



## 三井ビジネスマナー講座：敬語教育の開催

ハノイ国家大学外国語大学主催の三井ビジネスマナー講座（全9回）で、本学日本語教育プログラムの栗飯原専門家が3月9日、10日の2日間の講義をおこないました。講義は今回で4回目となり、ビジネス場面で使われる敬語の基礎から応用までを、ベトナム人学生に教授しました。また、学生だけではなくベトナムの現職の日本語教師24名も見学し、教師研修の一端を担いました。このように、日本語教育コースは、本学の学生に対する日本語の向上だけでなく、ベトナムでの日本語教育の底上げに深く関わって社会貢献をおこなっています。

## 富山県高等学校生の海外派遣事業の受入

3月7日、富山県高等学校生徒海外派遣事業の一環で、富山県の高校生20名が日越大学を訪問しました。富山県が主催し、県内の高校生の国際的な視野を広げることを目的に実施された事業で、日越大学には国際親善を図るために来学されました。当日、富山県の高校生には、日本語クラスに参加していただき、日越大学学生と日本語で交流をしていただきました。富山県の高校生からは、富山県の特産やお祭りなどを紹介したプレゼンテーションや空手のデモンストレーションなどが披露されました。ベトナムでは触れることの少ない富山県について理解を深めた日となりました。



## 福岡市ベトナムミッション来訪

3月22日（金）に福岡市ベトナムミッション8名の方々が本学に来訪されました。現在、福岡市は、福岡市へのベトナムIT企業誘致と、福岡地場IT企業とベトナムIT企業のネットワーキングやビジネスマッチングを通じたビジネス創出・地場企業の海外展開支援を目指しており、今回の来訪目的は、日越大学卒業生（主にマネジメント系）の就職先として、福岡に拠点を持つ企業を検討してもらいたいということで、福岡市として、今後どのような連携の可能性があるかを意見交換するということでした。

まず、日越大学側から日越大学及び技術協力プロジェクトに関する概要説明、その後、質疑応答がおこなわれました。ミッションからは、卒業生の日系企業への就職状況や本学が主催する”ジョブフェア”について関心がある旨や、今後本学での”福岡市企業説明会 “実施の可能性について、今後も本学と連携を図っていきたい旨の要望が示されました。

その後、日本語教育コースが実施している”日本語カフェ “に飛び入り参加し、学生と日本語でコミュニケーションを図り、楽しいひと時を過ごされました。



## JICA 専門家より日越大学に日本文化紹介のための物品を寄付

日越大学には、日本文化に関心の高い学生が多く在籍していますが、当地では本物の日本文化に触れる機会は限られています。そこで、JICA より派遣されている3名の長期専門家（桂、栗飯原、浅田）より、個人で所有していた茶器や着物、掛け軸など、日本文化を紹介するための物品計70点を寄付しました。今後、日越大学が日本文化の発信拠点となるような活動をする際に活かしてくれることを期待します。



## 2 2018年インターンシップを振り返って

昨年から今年にかけて、第2期生の日本でのインターンシップがおこなわれました。

そこで、今月号から3月号にかけて、日本でのインターンシップを終えた学生の声をお伝えします。

最終回の今月は、企業管理プログラムの Phan Thi Thanh Tam さん、地域研究プログラム（日本研究／ベトナム研究）の Nguyen Quang Dieu さん、Ngo Xuan Cong さんからの声をお伝えします。なお、掲載に際して、学生の感想、インパクト等を尊重し、原文のまま掲載していますので、宜しくご理解の程お願いします。

【企業管理プログラム】

<Student Name> Phan Thi Thanh Tam  
<Program Name> Master of Business Administration  
<Internship Term> from October 3<sup>rd</sup>, 2018 until February 2<sup>nd</sup>, 2019

I did an internship at Yokohama National University (YNU), one of the most famous historical universities in the beautiful city of Yokohama in Japan. While studying at YNU, I attended four academic courses and two seminars weekly under my supervisory professors. Throughout the learning activities, I gained much knowledge but more importantly, I also had an exciting chance to experience studying in an international environment where I became acquainted with foreign students from different countries around the world. It was a great opportunity for me to enhance my Training of communication skills that I practiced through the giving of presentations, in discussions with my supervisory professors, and working in teams with my classmates from foreign countries.

During the 120 days stay in the most beautiful season of Japan, the Momiji season, I have visited 14 companies, two field trips and raveled to eight cities: Yokohama, Tokyo, Kyoto, Kobe, Osaka, Nagoya, Chiba, and Hokkaido. The company visits provided me information about not only their company business history but also of their operations and management.

Furthermore, they provided me knowledge of many different business fields such as food and beverage, automotive, cosmetic, logistics, and the airline industry which will be necessary for my career in the future.

Additionally, I participated in exchange cultural activities organized by YNU and volunteer organizations (KSGG, RCA, Hippo family) such as welcome parties, year-end parties, homestay, cooking contests, teaching Vietnamese language skills, and many other visiting activities. By participating in those activities, I fully experienced Japanese culture and its people. I also had a chance to exchange my own Vietnamese culture with Japanese



*Figure 1: FANCL Corporation*



*Figure 2: Welcome party for foreign students*



地域研究プログラムの5名が、2018年9月から2019年1月までの間、東京大学でのインターンシップに参加させていただきました。

4ヶ月という短い期間ですが、東京大学の聴講生として、講義や研究活動、そして部活動にいたるまでのあらゆる面で「東大生の日々」を過ごすことができ、その苦しさとおもしろさを実感しました。東京大学の他に、早稲田大学や昭和女子大学、山梨県立大学でも充実した講義やフィールドワークにも参加できました。インターンシップ期間中は、日本人学生だけではなく、多くの外国人留学生とも交流することで、世界のボーダーレス化を強く感じることができました。これから日越大学で学んだことを活かして国境を超えたグローバル人材を目指していきたいと思います。



(東京大学の合唱団の定期演奏会に参加)



地域研究プログラムの学生と荒汐部屋を見学)

### 3 今後の主な予定、行事（予定）

- ✦ 4月18日 第4回日越大学理事会開催
- ✦ 4月20、21日 日越大学ジョブフェア
- ✦ 5月3日 RILP セミナー開催
- ✦ 5月18日 学生募集説明会

### 4 人事往来

#### ➔ 離任

- ◇ 3月23日 桂 良太郎 専門家（プログラム運営・実施：公共政策プログラム）
- ◇ 4月1日 中島 淳 専門家（プログラム運営・実施：環境工学プログラム）

#### ➔ 着任

- ◇ 3月21日 岡本 直久 専門家（プログラム運営・実施：公共政策プログラム）
- ◇ 3月25日 谷口 邦生 専門家（大学運営強化）
- ◇ 3月30日 佐藤 圭輔 専門家（プログラム運営・実施：環境工学プログラム）
- ◇ 3月31日 熊谷 真人 専門家（チーフアドバイザー）
- ◇ 3月31日 柳 定賢 専門家（プログラム運営・実施：グローバルリーダーシッププログラム）
- ◇ 3月31日 田中 清子 専門家（プログラム調整：学務）

### 5 日越大学からのお知らせ

#### 2019年入学試験日程のお知らせ

引き続き、日越大学修士課程第4期生の願書を受け付けています。

昨年は、初の外国人留学生の入学があり、また、今年も日本人大学院生の長期インターンシップを受け入れるなど、学生支援体制も少しずつですが、整備されてきました。

経済発展著しい、熱気あふれるベトナムでの修士課程留学に興味関心をお持ちの方がいれば、是非、

募集案内をお知らせください。受験から渡航、就学、卒業まで、現地日本人スタッフが間に入って、サポートしてまいります。

◆ 二次試験 出願締切：2019年7月19日（金）

試験日程：2019年7月22日（月）～31日（水）

（インターネット面接可。日程や試験項目の詳細はプログラムによって異なります）

入試情報 URL：<http://admission.vju.ac.vn/>

## 日越大学サマープログラム 2019 の募集について

昨年第2回目を開催し、たいへんご好評をいただいたサマープログラムを今年も開催する予定です。期間は8月18日（日）～28日（水）、費用は昨年と同じ800ドル程度を予定しています（いずれも変更の可能性があります）。

詳しい募集案内は3月末にホームページに掲載します。

ご関心を持ちそうな学生さんに、是非お知らせください。

### 【昨年の様子】



### 【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn)

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook（ベトナム語） <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook（日本語） <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

### 【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn) までご連絡頂ければ幸甚に存じます。